

も く じ

日本哲学会シンポジウム発表原稿 存在の政治と絶対無の政治（品川哲彦）	1
日本看護倫理学会教育講演原稿 患者のアドボカシーとしての看護 ——ケアの倫理からの 解釈（品川哲彦）	16
同パワーポイント資料	33
京都生命倫理研究会設立 30 年に寄せて ——応用倫理学へのずれと自己同一性の模索（品川 哲彦）	67

*本号の表紙は、2012年3月8日にドイツのSaale地方のNaumburgの駅で撮影した。Antidiskriminierung des Bundes（連邦反差別局）のポスターで、“Vielfalt statt Einfalt
Gemeinsam für Gleichbehandlung”（一様性ではなく多様性を。みんなで平等な扱いを）
というモットーの横にムスリムの服装をした女性の写真が載っている。本号刊行直前に、
ベルリンでテロが起きた。移民に開かれた政策を進めてきたドイツだが、これまで以上に
その政策への反対が強まるかもしれない。その政策の記憶のために、そしてまた、本号の
最初に日本哲学会2016年度大会シンポジウム「哲学の政治責任——ハイデガーと京都学
派」の提題者のひとりとして報告した品川の発表原稿を掲載していることから、本号の表
紙にこの写真を使った。